

文化学園大学で学び、希望の進路を実現した先輩たちのがんばった“就職活動(就活)ストーリー”をご紹介します。



### 新保 優さん

服装学部 服装社会学科 4年  
ファッションビジネスコース  
横須賀市立横須賀総合高等学校出身

### 内定企業:株式会社トゥモローランド 職種:総合職

事業内容:紳士服、婦人服、服飾雑貨の企画・生産・販売・輸入

### 文化学園大学を志望した理由

スタイリストになりたいと考えていた時期もありましたが、高校3年の大学進学を考える時期には、もっと幅広くファッション関係の勉強がしたいと思うようになっていました。最初は文化服装学院を検討しましたが、私にとっては2年間でどんな勉強ができるかイメージができませんでした。そして同学園に大学があることを知り、しっかりとファッションの勉強をするには4年制大学がよいと考え入学しました。洋服づくりへの思いはありましたが、お店のディスプレイやマーケティングといったファッションビジネスを広く学びたいと思い、服装社会学科を選びました。

### 入学時の将来の仕事に対するイメージは

“夢”というレベルに近いかもしれませんが、ディスプレイやお店づくりに興味があったので、自分のお店をもつことや、何かファッションに関連する仕事に就きたいと、まだまだ漠然とですが考えていました。3年生になってからはアパレル業界への志望は固めていましたが、職種はまだ決まっておらず、販売からスタートし、将来は企画やプレスのような仕事がしたいと思うようになっていました。

### インターンシップで就職活動への意欲を高める

スタイリストになれたらいいと思った時期もあったので、インターンシップに行けるならスタイリストの仕事や現場を知りたいと思いチャレンジしました。大学3年の時にはスタイリスト職を志望していたわけではありませんが、アパレルメーカーのプレス担当者やスタッフとの接点もあり、ファッションビジネスの現場に触れるよい機会になるのではと思い志願しました。現場を経験して制作側の仕事より、もっとお客様との接点をもち、直接お客様に提案ができるような仕事でファッションビジネスに関わりたいと強く思う気づきがありました。進路の再確認や就職活動への意欲を高めることができた貴重なインターンシップでした。

### 就職活動はスロースターターだけど戦略的に

大学で実施する就職講座を受けて、就職活動の基本は理解していましたが、自主的に活動することがなかなかできず、企業のエントリー締め切りが迫ってきて、やっとその気になったというような状況でした。こういうと何か就職活動を真面目に取り組みなかつたように聞こえますが、私なりに戦略的に就職活動を行っていました。セレクトショップ系のアパレル企業を中心に応募し、希望職種はMD職(商品企画やバイヤーなど)に絞り臨んでいました。というのも授業のマーチャンダイジング演習で作成したオリジナルブランド企画の内容に自信があり、その内容を説明すれば、私がなぜMD職にこだわるのか面接官の方に納得していただけたと考えたからです。大学の勉強や経験が、やりたい仕事と結びついている、これが私なりの戦略でした。

### 高校生のみなさんへ

文化学園大学でファッション関係の勉強をしたいと思っている高校生の方には、ファッションが好き、洋服を作りたいという自分の思いをよく考えてみるとよいと思います。とことん洋服を作りたい人には服装造形学科や国際ファッション文化学科があります。そして洋服づくりの基礎を学びながら幅広い視点でファッションを学ぶ服装社会学科もあります。実は私自身、4年生になりもう少しモノづくりに携わり、選択科目で服を作る授業を学んでいたらどうなっていたかと考えることがあります。文化学園大学にはいろいろなファッションとの関わり方や学びがあります。皆さんにふさわしい学科を見つけてください。